

# 学校・家庭・地域をつなぐまちづくり

H26年3月16日(日)

ライフパーク倉敷 視聴覚ホール

## 【主なご意見】

- あいさつができない子が多い。道徳授業をしっかりとしたほうがよい。
- 先生は良く頑張っていると思うが、疲弊している。幼稚園、小学校からのつながりのある教育、そういう支援についてどう考えているか。
- 5年前から青パトで地域の安全活動をしている。小学生だけでなく、中学生・高齢者にも交通教育をしたらどうか。
- 船穂の小学校が廃校にならないか心配している。
- 学校の部活動をしていない中学生で、ボランティア活動を頑張っている子どもを評価してほしい。
- 学校教育では、まず学力より、あいさつや助け合う心を育てることが大切だと思う。
- 同学年だけでなく、中高生や大人など異年齢の関わりができる子ども会に、もっと子どもを託してほしい。
- 夏休みの過ごし方で非行が増えているように思う。
- 子どもたちが小さい時から地域の人とふれあえるよう、公民館の機能を充実し、子どもから高齢者までが集えるような場になればと思う。
- 公民館・児童館・コミュニティ集会所など、利用しやすいよう、一本化になれば使いやすいのではないか。
- 町内会には入らず、地域のゴミステーションは使うという、矛盾した人がいるので、町内会の組織化を義務付けしてはどうか。
- 先生は子供たちの見本となるよう、きれいな言葉で話してほしい。
- 夏休み中のプールの特別練習にあわせて、勉強もみてほしい。
- 子どもの活動(子ども会など)に関わらない親が多い。何のための、誰のための活動なのか、親の教育も必要だと思う。